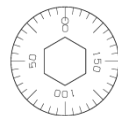


# エアトース使用に関して

## ■ 目盛の可動範囲について

- 1目盛の回転で5 $\mu$ mのベント深さが調節できます。(最大150 $\mu$ m)

〈注意〉 構造上目盛は何回転もしますが、破損の原因となりますので調節用ねじは150 $\mu$ m以上回さないで下さい。



1目盛の回転で5 $\mu$ mのベント深さ調節ができます。

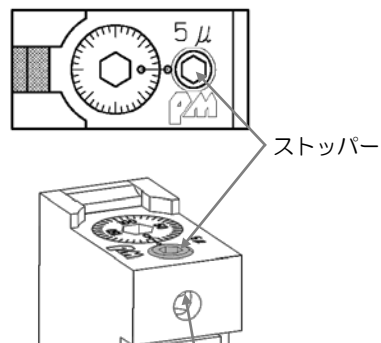
## ■ ストッパーの使用方法について

- エアトースには、ストッパー機能がついております。

エアトースご使用の際は、そのままでも十分お使いいただけます。量産中のベントのズレが心配な場合は、六角レンチでストッパーを回し固定させてください。

目盛調節の際は、必ずストッパーを解除してから目盛を調節してください。

ストッパー機能を失う恐れがありますので、ストッパーを横の穴より上にあげたり、エアトース本体から取り外したりはしないでください。



横から見てストッパーが少しかかっていること

## ■ 設置について

- エアベントについて

エアベントは金型外まで繋がっていないと効果はありません。外に向かってニゲは大きくとってください。

- 設置箇所について

エアトースはベントが昇降する面からエアーを抜く構造となっておりますので、上面(目盛がある面)からの力には対応しておりません。ベント昇降面に樹脂が当たるような箇所へ設置をしてください。

また、ベント昇降面はサイズにより範囲が異なります。パーティングより製品面が5mm(5、8、12の場合)、9mm(16、20の場合)を超えている場合は隙間より樹脂が漏れてしまいます。

- 金型に固定方法について

エアトースの固定には2通りの方法がございます。

- ・エアトース本体のツバで固定する方法
- ・専用押えコマで固定する方法

